

## HEADLINE

表

1. 秋に向けて、その前に。

裏

2. 皆さんの声を聞かせてください。

3. 文理が大切にしていること。

編集後記

### Topic1 秋に向けて、その前に。

夏休みも終わり、通常授業がスタート。夏休みの反省はそれぞれ持っていると思います。学年別でチェックすると、

1年生

- しっかりと実現可能な学習計画を立てたか？
- 一日の学習時間は概ね予定通りに実行できたか？
- 計画通り学習を進めることができたか？できなかったら、その都度計画の練り直しをしたか？
- 実力が高まったと実感できているか？
- 生活のリズムは崩れなかったか？

2年生(1年生の項目に追加して)

- 受験勉強をスタートできたか？
- 進路について、大学受験について深く考えたか？

3年生

- 無駄な時間を極力抑えることはできたか？
- 課題の克服法、それにかかる時間は妥当なものであったか？成果は出たか？

1, 2年生の皆さん、3年生の項目を見てください。シビアですよね。突き詰めると、第一志望大学に合格するために今の自分の実力を冷静に分析し、克服すべき点を挙げ、学力向上のために毎日コツコツ勉強する。これしかないのです。

前号の文理だよりでお伝えした通り、文理学院高等予備校は、高校生の皆さんを合格させるために全力でバックアップする“何でも屋”です。学習面で悩んでいることがあれば即相談、次へと行動していきましょう。

## ここで注意です！！！！

この時期、進路や勉強で悩む3年生も多くいますが、結論から言うと、

## 「悩んでいても、偏差値は上がらない！」

ということです。これからはどれだけ無駄を作らず、1点でも多く取るための学習をするか？というのが大きなテーマで、食事の時間さえ短くすることも考え始めます。進路や勉強で悩む生徒のほとんどが「自分はこんな悩みを抱えていては、受験勉強なんて手につかない。悩んでいるんだから仕方ない。」と考え、“悩んでいる時間を無駄ではない”と言い訳します。しかし、どのように理由をつけたとしても、その時間を勉強に振り替えた方が学力は上がるのです。そうして行動を取った受験生が、合格を勝ち取っていくのです。結論の出ないことを悩むより、文理の先生に相談してください。それが合格への近道であることに違いないのですから。

ただし、進路についての相談で重要な今考えなければならないこともあります。それは、決断によって受験科目が変わる場合です。

ですから、繰り返しになりますが、どんな場合でも文理の先生に相談してください。皆さんの考えるべき項目を整理して、気持ちよく勉強に向かえるように選択肢を示すことができると思います。

1, 2年生の皆さん、3年生になるとこれほどまでに厳しい状況の中で受験勉強を毎日しなければなりません。今のうちに少しずつ取り組んで、悩むべきことはきちんと悩み、時が来たら受験勉強に集中できるようにしておくことがとても大切です。

文理は受験の“何でも屋”です。

どんどん使いましょう！

余計な費用は掛からないのですから！

## Topic2 皆さんの声を聞かせてください。

現在、文理学院高等予備校に通ってくれている生徒はなんと約1300名です。特にここ数年は生徒も講師も順調に増えていきます。これは必死に努力する生徒に必死に応えようとする我々教師陣の姿勢が評価された結果だと自負しております。

高校生くらいの大人になると、「こんなことは頼めない。」「先生も大変そうだから言い出しにくい。」などと気を遣ってくれるケースがとても多いことに気づきます。学力向上のためなら何でもする。対応できないこともあります。ぜひ、皆さんの言えない要求があれば聞かせてください。

### 〈対応できないこと〉

- ・自宅の近くに校舎を作してほしい。
  - ▶遠くから通っていただいている生徒・保護者の皆様誠にありがとうございます。今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。
- ・コピー機、印刷機を使わせてほしい。
  - ▶生徒の利用は厳禁としております。テキストのコピー等もしておりません。ご理解をお願いいたします。
- ・一人で勉強したいので、空いている教室を一人で使わせてほしい。
  - ▶收拾がつかなくなりますので、お断りしています。
  - など、管理上の理由等でお受けできないこともあります。

### 〈対応できること・したいこと〉

- ・数学のある単元、分野がわからないので、まとめた授業をしてほしい。
  - ▶こういった内容は、できる限り細かく対応します。時間等の調整をさせていただきます。
- ・進路相談に乗ってほしい。
  - ▶校舎によっては、月間スケジュールについている「面談申し込み用紙」かお電話にて随時承りますので、お申し付けください。

このほか、何かできることがあれば、どんどん校舎長に伝えてください。

## Topic3 文理が大切にしていること。

どのように時代が変わっても、必死に努力する人間は存在します。そうでない人もたくさん存在します。生徒の皆さんには、その必死に努力する人間の一人になってほしいのです。「結果はどうでもいい」と言うと誤解されるかもしれませんが、必死に努力した人間には必ず、次の舞台が待っています。一度や二度の失敗でどうにかなるほど、人生は短くありません。

今年の夏、甲子園球場を沸かせた大阪桐蔭高校の試合で、敵チームの選手の手当てをしたニュース、とても多くの感動を呼びました。誰にでもできることではありません。これこそ、努力をした人間同士の“共鳴”なのだと思います。甲子園に出場するような選手は、日頃から想像を絶するような努力をされているのでしょう。努力をした人間は、他人の努力を理解できます。他者を理解できることが多くなるのです。これこそが皆さんに持ってほしい一つの力です。

感動するだけなら、誰でもできます。しかし、敵の選手のところへ駆け付けた彼は、周囲を感動させようと思っていたのでしょうか。そうではないはずです。相手のことを思いやり、いてもたってもいられなくなり取った行動であり、純粋なものだったのだと思います。皆さんにも、その行動で周囲を感動させることができるような人、助けになってほしいのです。大切なのは言葉ではなく、行動なのです。

文理学院は生徒と共に歩む塾でありたい、と思いながら取り組んできました。今後もこれは変わりません。

時代が変わっても、最後は人だと思います。大学受験という一つの試練に向き合いながら、同じ時間を過ごす人間として、皆さんには期待せずにはられません。

これだけ多様なことを書きましたが、私たちにできることと言えば、共に努力することくらいかもしれません。でもこれは、必ずできると断言します。

これからも文理学院で存分に学んでください。

■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ…

台風等による対応もブログでお伝えします。

校舎ブログをホームページから、チェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込まず、いつでも、何でも相談してください(生徒の皆さんも、保護者様も)。

## 新学期生募集！

無料体験授業受付中。お友達を紹介してください。

## 編集後記

あっという間に夏休みが終わり…、何ができて何ができなかったか、反省も多く残りました。

言うは易く行うは難し。光陰矢の如し。重くのしかかってくる言葉が気になり始める時期ですが、笑顔を忘れず、睡眠をしっかり取り、日々過ごしたいと思います。

皆さんも、笑顔を忘れず。「元気があれば何でもできる」と信じながら同じ時を過ごしましょう。秋もあっという間。

【い】